



Support

<http://www.city.niigata.jp/info/gakusi/>

No. 6

平成23年2月18日

編集・発行

学校支援課 広報担当

今年度の取組に感謝

変化に敏感であれ！

～時代に後ることなきよう～

学校支援課長 南 敦



凡そ人を教えんとするには、自ら先ず能く學ばざるべからず。殊に知識の日に進歩する今日に於て、少しく怠ることある時は、忽(たちま)ち時代に後(おく)るべし。(中略)而(しか)して学問に心を傾くることは、啻(ただ)に教授の爲めに利益あるのみならず、教師として世に立ち、精神上的快樂を以って満足し、外界の誘惑に動かされざる點より見て、亦最も貴重すべき所なり。

この一文は、今から百年以上前の1903年(明治36年)に刊行された師範学校の教科書(大瀬甚太郎『新編教育學教科書』金港堂書籍)からの抜粋です。(原文は、平仮名ではなくカタカナ。カッコは南の追加。)学校の教師を志願する学生が使用していた教科書の最後の部分で、この様に強調されているのです。

ずっと昔から、明確に学校の教師は、その職にある限り、絶えざる研修が不可欠だと言われ続けていました。明治の時代から、「殊に知識の日に進歩する今日」と記されていたわけですが、今こそ、教育を取り巻く環境は急激に変化している時代です。つまり、研修の必要性は、現在でもそのまま、むしろ、それ以上に強調されるべきところです。

わが国全体が、グローバル化、高度情報化、地域主権の進展など大きな流れの中にある今、この時代を生き抜くことができる人は、「最も強い人」でも、「最も賢い人」でもなく、最も『変化に敏感な人』であると思います。

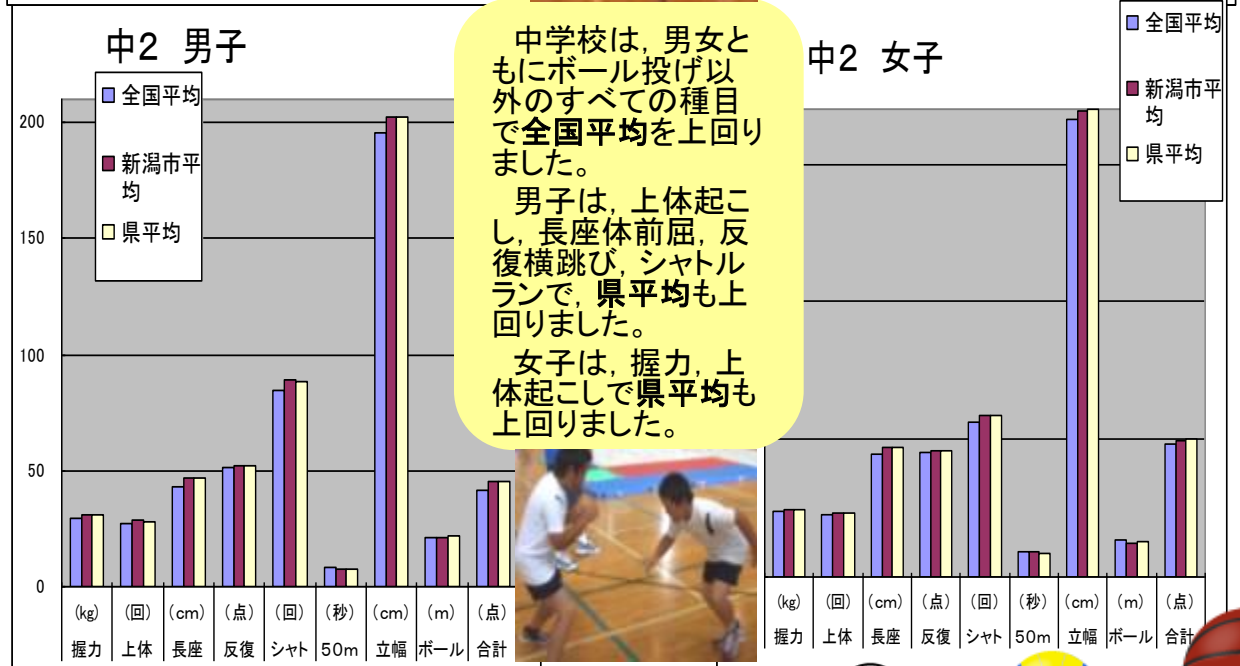
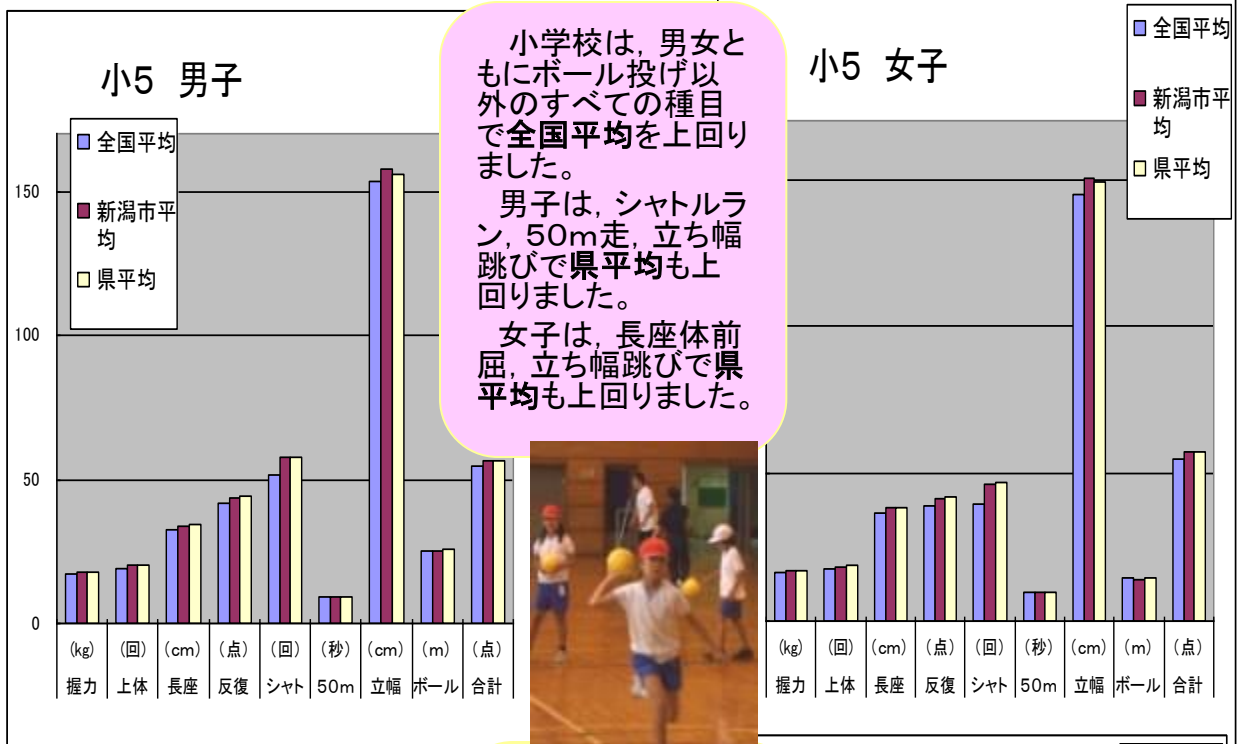
もちろん、変化に敏感であるということは、その対応を的確に行うところまで含まれます。対応を誤る原因のひとつに、自分の経験にのみ頼ったり、固執し過ぎたりする場合に考えられる「変化に鈍感」になっていることがあげられます。常に、真摯な姿勢で、時代の流れに目と耳を澄まし、自分自身を成長させておくことが大切です。そのためにそれぞれの経験と立場に応じたいくつもの方法で、自分自身を磨き続けていただきたいと思います。

さて、今年度も、教職員の皆様からは、一人ひとりの子どもが、確かな学力を身に付けるとともに、学ぶ意欲やものごとを進める気力などにもつながる体力の向上、健康づくりに取り組めるよう多くの指導・支援をしていただきました。併せて、互いの人格を尊重し、共に支え合う思いやりの心など豊かな心の育成にもご尽力いただきました。

この場を借りて、改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

ボール投げ以外で全国突破

平成22年12月16日公表：全国約18.6%抽出，約42万人参加



課題は今年も・・・“投げる力”

種目別に見ると、小中学校ともに、全国の順位で中位以下のレベルです。特に、低学年の体づくり運動では新学習指導要領で加えられた「用具の操作」で、投げる遊びを重点的に取り入れることが必要です。また、中学年以上でも、体づくり運動やボール運動の授業で積極的に指導をすること、日常の運動遊びやスポーツ環境の整備を進めることが大切です。

特集2 心つながる中学校区の集い

北区：光晴中学校(12/13)

- ◆生徒会，学年のいじめ根絶取組発表
- ◆いじめアンケート結果の発表と提言
- ★高いリーダーシップと全校の誠実さ

東区：下山中学校(12/2)

- ◆人間関係改善の取組集会で根絶宣言
- ◆創作劇，パネルディスカッションの実施
- ★斬新な問題提起型劇と全校の団結感

中央区：舟栄中学校(10/31)

- ◆全校集会で人間関係づくりレク実施
- ◆いじめ根絶へのメッセージの唱和
- ★地域ぐるみの和やかな雰囲気

江南区：横越中学校(12/2)

- ◆いじめに関する創作劇VTR上映
- ◆感想発表，いじめアンケート結果報告
- ★全校生徒が真摯な態度で参加

秋葉区：新津第五中学校(12/13)

- ◆GIP（五中いじめ問題対策プロジェクト）の取組
- ◆暴力など3種の劇と全校生徒意見発表
- ★大勢の生徒が発表や運営に大活躍

いじめをなくす！

いじめをなくす3か条

- 1 子どもの心に寄り添い親身になって悩み相談
- 2 教師は感性を磨きいじめサインをつかめ
- 3 子どもたちによる取組で気運を高める

南区：白根北中学校(11/24)

- ◆地域参加の創作劇とパネルディスカッション実施
- ◆生徒会いじめ対策局の設置で活動充実
- ★全校が誠実な態度で具体策を共有

西区：黒崎中学校(11/29)

- ◆いじめに関する創作劇，学年取組の発表
- ◆いじめゼロスクール憲章の全校復唱
- ★「あいさつ日本一」への強い意志を表現

西蒲区：巻東中学校(12/9)

- ◆「いじめゼロプロジェクト」として実施
- ◆朗読劇，討論，いじめに関する講演会
- ★活発な全校討論，充実した改善策提案

各校では児童生徒が互いに思いやりの心で接し，充実した学校生活を送れるよう，いじめ根絶に取り組んでいます。

今年度は初めての試みとして，いじめ等問題行動の防止・改善について特徴的な取組をしている中学校を，「心つながる中学校区の集い」の拠点校とし，集いに各区内の小中学校を中心として多くの児童生徒，教職員に参加してもらいました。

そこで学んだことをそれぞれ自校の取組に生かし，学校全体でいじめをなくす気運を高めています。

にいがた教育知図

岡方第一小学校・岡方第二小学校

～「岡方子どもサミット（学習発表会）」をとおして、児童の交流を～

岡方第一・岡方第二小5、6年生の児童53名が一堂に会した「岡方子どもサミット」は3年目になります。そのねらいは、岡方中学校へ進学する児童間の触れ合いです。各学年5～6人のグループで自己紹介、質問コーナーは緊張したスタートでしたが、次第に笑いも飛び出す温かい交流の場になりました。学習発表会は、岡方第一小は佐渡への体験旅行で学んだことをテーマに、プレゼンテーションや掲示などに工夫を凝らした分かりやすいものでした。「岡一の発表は、言葉だけでなく映像で分かりやすくしてあってよかったです。自分も取り入れたいです」「中学校で仲良くできるか不安でした。でも岡二さんと交流したらちょっとだけ自信ができました。中学がとても楽しみです」など互いの良さを認めあったり、触れ合いを実感したりしました。

両校は、多くの児童が保育園を含め9年余り同じ集団の中で過ごしてきました。そのため固定化された人間関係に陥りやすい環境にあります。

岡方中学校では、30人前後の集団になりますが、小学校での人間関係が様々な所で影響を及ぼします。この2回の交流や機会をとらえた互いに触れ合う小・小学校間の連携は、子どもたちの温かい人間関係を基盤にした中学校生活を実現させてくれる役割を果たします。

(文責 北区指導主事 梅津 威)



中之口東小学校～自分に自信をもち、地域を誇れるキラキラにこにこ東っ子を目指して～

学校は、南区と燕市に隣接する田園地域に位置し、校庭の二宮金次郎の像が毎日子どもたちを迎えています。

平成19年度からパートナーシップ事業パイロット校として、また、平成21年度からはオンリーワンスクール事業で、地域の方々とのふれ合いや、縦割り班を中心とした異学年交流を核にした教育活動に取り組んでいます。

現在も大勢の地域ボランティアや保護者ボランティアが学校に足を運び、教育活動を支援しています。

生活科や総合的な学習の時間では、中之口の代表的な果物の桃や梨をはじめ、落花生、柿、米などの「食」を題材に「植育&食育」の特色ある学習を展開しています。

玄関を入ったらせん階段のスペースでは、児童の作品が展示され、時にはコンサートも行われ、地域との交流の場になっています。

児童は、大勢の地域ボランティアや保護者ボランティアと共に学ぶなかで、学習意欲を高めたり、深めたりしてきています。また、地域に対する理解と愛着が確実に育ってきています。

今年度の研修は、国語科「確かな読み取りのできる子どもの育成」を目指し、全ての教師による授業研究を中核として推進しています。教師が互いに学び合う姿勢から、教師一人ひとりが授業力の向上を図り、着実な実践を展開しています。

(文責 西蒲区指導主事 野本 豊)

